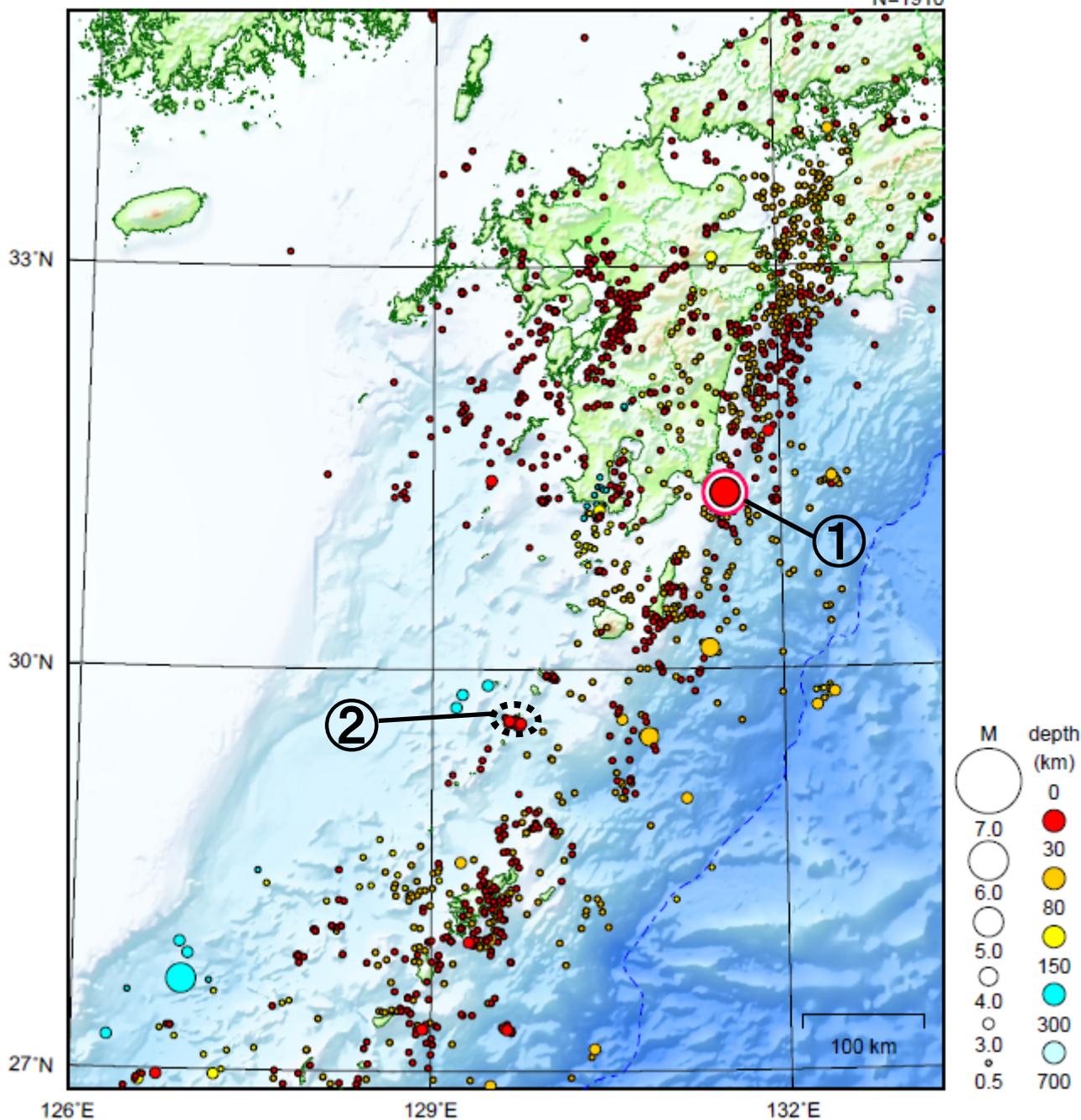


# 九州地方

2022/10/01 00:00 ~ 2022/10/31 24:00

N=1910



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

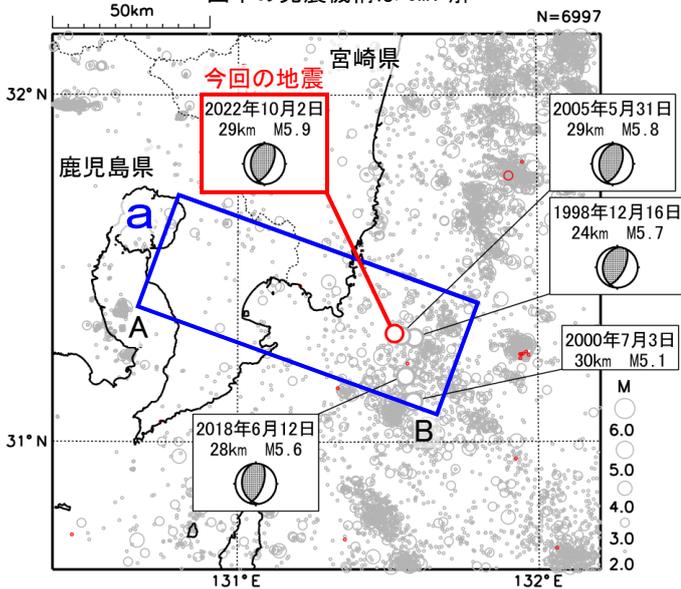
- ① 10月2日に大隅半島東方沖でM5.9の地震（最大震度5弱）が発生した。
- ② トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、10月中に最大震度1以上を観測した地震が11回（震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）発生した。このうち最大規模の地震は、25日及び31日のM3.4の地震（ともに最大震度3）である。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

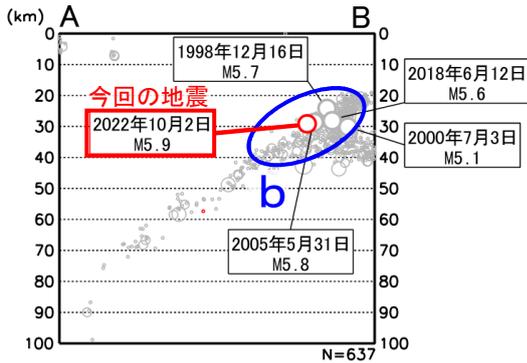
気象庁・文部科学省

# 10月2日 大隅半島東方沖の地震

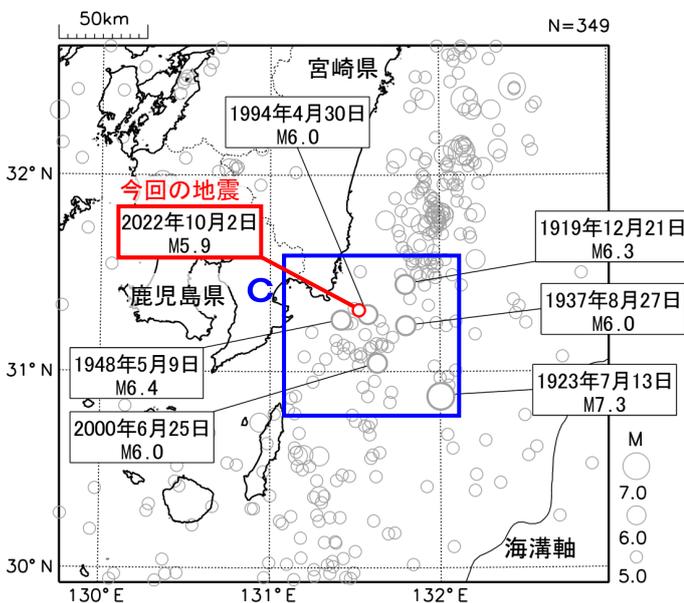
震央分布図  
(1997年10月1日～2022年10月31日  
深さ0～100km、M≥2.0)  
2022年10月の地震を赤色○で表示  
図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図  
(1919年1月1日～2022年10月31日、  
深さ0～100km、M≥5.0)  
今回の地震と M6.0 以上の地震に吹き出しを付加

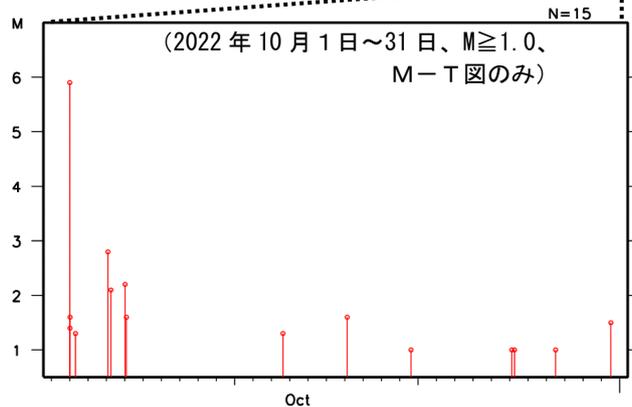
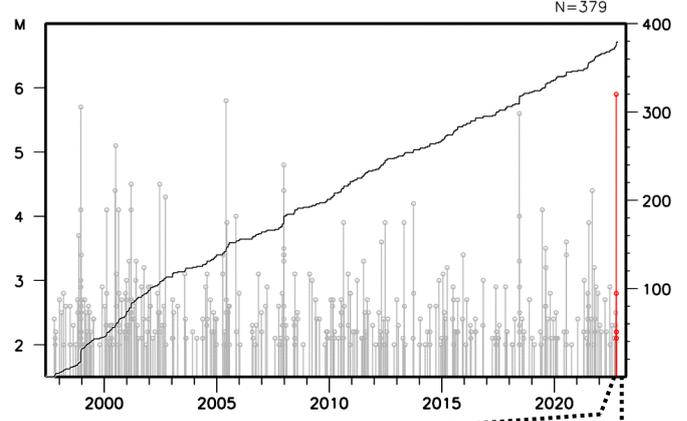


2022年10月2日00時02分に大隅半島東方沖の深さ29kmでM5.9の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震により長周期地震動階級2を観測した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

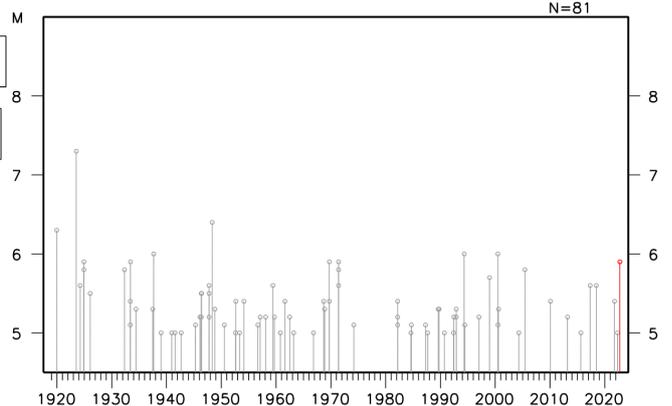
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) ではM5.0以上の地震が今回の地震を含め5回発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) ではM6.0以上の地震が6回発生している。このうち、1923年7月13日に発生したM7.3の地震では、鹿兒島県の中種子村 (現在の中種子町) で住家小破27棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



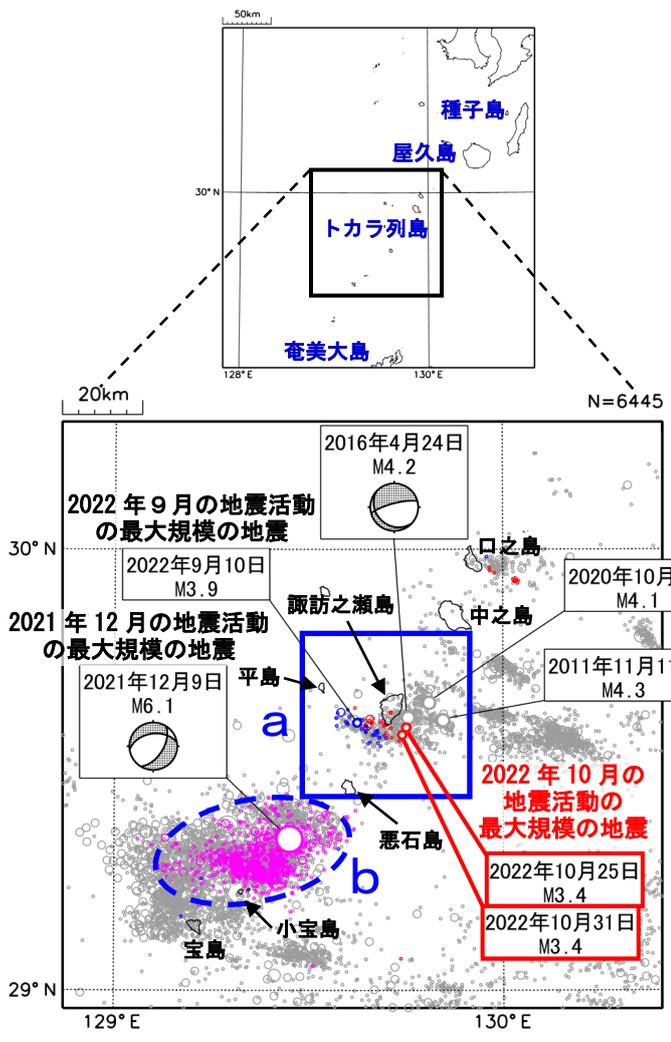
領域 c 内の M-T 図



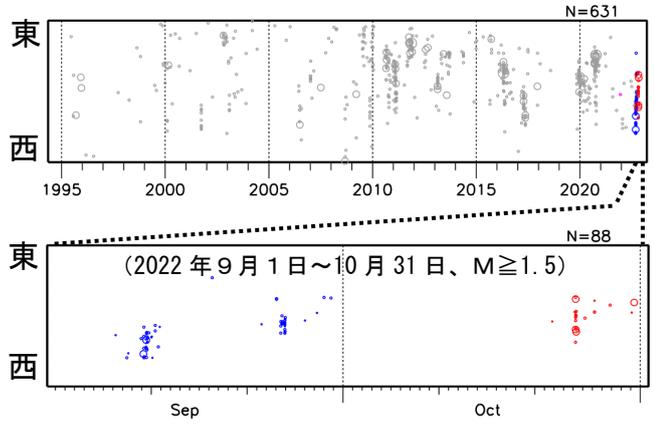
気象庁作成

# トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）

震央分布図  
 (1994年10月1日～2022年10月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2021年12月の地震を紫色○で表示  
 2022年9月の地震を青色○で表示  
 2022年10月の地震を赤色○で表示  
 図中の発震機構はCMT解



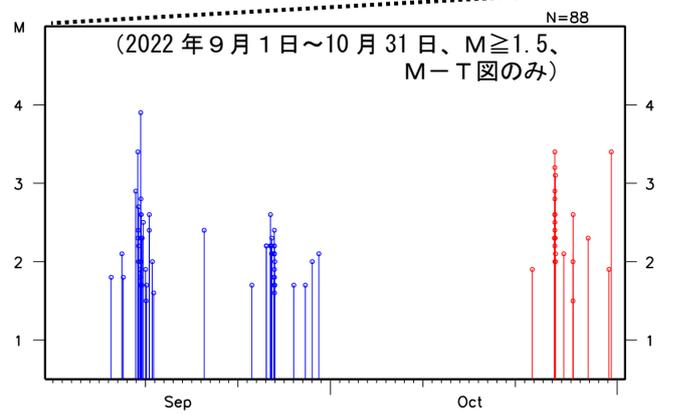
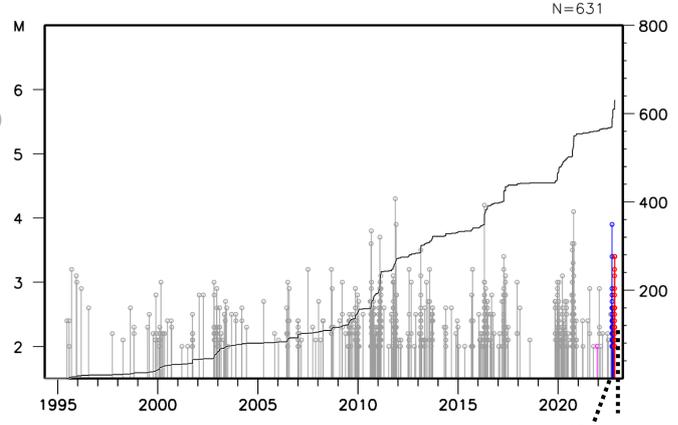
領域 a 内の時空間分布図（東西投影）



トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、2022年10月に震度1以上を観測した地震が11回（震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）発生した。このうち最大規模の地震は、25日06時07分と31日08時44分に発生したM3.4の地震（ともに最大震度3）である。11月には9日08時までに震度1以上を観測した地震が1回（M3.6、最大震度3）発生した。この地震活動は陸のプレート内で発生した。また、これらの地震活動は諏訪之瀬島の火山活動に関係するものと考えられる。なお、9月には震度1以上を観測した地震が16回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）発生している。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動がある。直近は、2020年9月から2020年10月にかけての活動で、震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。また、今回の地震活動域の南西の領域（領域b）では、2021年12月に地震活動が活発となり震度1以上を観測した地震が308回発生した。このうち、最大規模の地震は、2021年12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）で、鹿児島県十島村（悪石島）でかけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

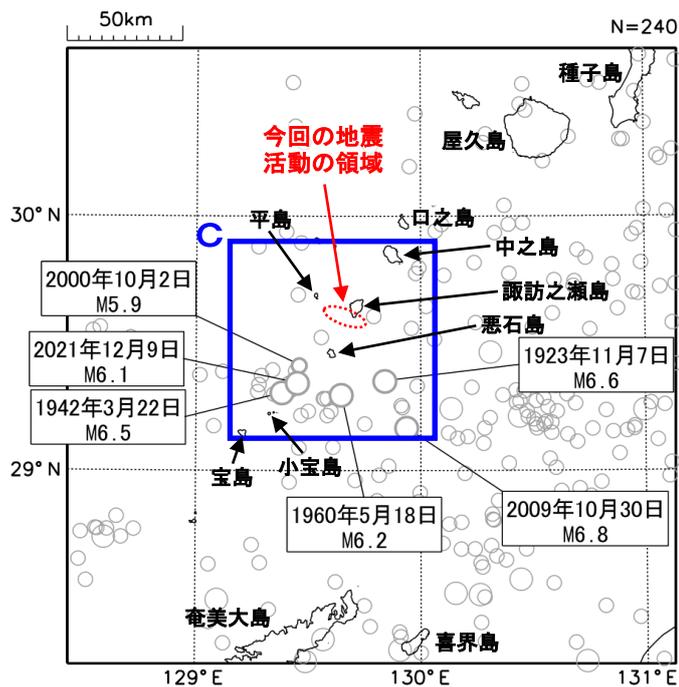
領域 a 内のM-T図及び回数積算図



### 震央分布図

(1919年1月1日～2022年10月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

M6.0以上の地震と2000年10月2日の地震に吹き出しを付加



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2000年10月2日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）では、鹿児島県十島村（悪石島）で水道管破裂などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。また、2009年10月30日に発生したM6.8の地震では、枕崎で18cm、奄美市小湊で11cmの津波を観測した。

### 領域c内のM-T図

